

第（ 2 ） 学年 [自立活動] 学習指導案（個別指導）

指導者 ○○ ○○

1 単 元 名 「しっかり きこう」 「合わせて」

2 単 元 目 標

（自立活動） ……大事なことを落とさず話を聞き、自ら行動できるようになる。

（自立活動 6－（1）コミュニケーションの基礎的能力に関すること）

（自立活動 6－（2）言語の受容と表出に関すること）

（自立活動） ……数の合成

（自立活動） 4－（2）感覚や認知の特性についての理解（と対応）

3 児 童 の 実 態

「聞くこと」については、話を聞く際に視線がそれてしまって集中ができていない。そこで、言葉を聞くこと（この学習の場合、動物の名前）に焦点を絞って学習する。言われたことを聞き落さずゴールまでたどり着こうとすることを通して、一定の時間、集中して耳を傾けることの大切さに気付かせたい。

計算において、数の合成がまだ定着しておらず、指をつかっている状態である。

「2と1で3」「3と2で5」など、5までの数をパッと見ただけですぐに頭の中で答えが出るようにしていきたい。

4 本時について（単元1時間扱いの1時間目）

（1）本時の目標

- ・ しっかり言葉を聞いて、課題をクリアする。
- ・ 5までの数の合成が、見てすぐわかるようにする。

（2）本時の具体的な手立て（目標達成のための工夫点や指導のポイント）

○ゲーム感覚で楽しみながら、聞くトレーニングをする。（自立活動）

○最初の段階では、具体物を使って、視覚的に理解しやすいようにする。（算数）

(3) 本時の展開

<p>学習の流れ</p>	<p>○：学習活動・内容 T：教師の働きかけ（発問） C：主たる児童の反応</p>	<p>□：具体的支援 ■：評価規準【観点】（評価方法）</p>
<p>挨拶 今日の学習 内容の確認</p> <p>聞く トレーニング</p> <p>教科の補充指導</p> <p>振り返り</p>	<p>今日の学習内容、約束を確認する。</p> <p>○：「しっかりきこう」聞くトレーニング T：「どっちにすすむ」ゲームをやりま す。 説明を聞いてから、ゲームをしま す。 C：話を聞いて、課題に取り組む。 CDから流れてくる音声に従って進 めていく。</p> <p>○：「数の合成」 T：（具体物を提示して）1と2でいく つ ですか。 指を使わないでこたえましょ う。 C：「・・・3」 ※合計の数が5になる数でいくつ か の問題を出す。 5までの数ができたら、6～10の問 題にも挑戦してみる。 T：（ワークシート）プリントをやりま し よう。 ※具体物から数字に変えて計算する。</p> <p>○トランプのゲームをしよう 「神経衰弱」をする。 1（A）～4までの数のトランプを用 意して、5の数になったらカードがと れる、というルールにする。</p> <p>○振り返る T：今日の学習の内容の感想を発表し よ う。 C：トランプのゲームが楽しかった。</p> <p>○今日の学習の感想を発表する。</p>	<p>□：課題に入る前に、ワークシートの絵が 何の動物か確認する。 ■：聞こえてくる言葉を落とさず聞いて ゴ ールまでたどり着けたか（課題がクリ ア できたか）。 （ワークシート） 【自立活動6－（1）、（2）】</p> <p>□タイルとおはじきを使って、視覚的にわ かりやすいようにする。</p> <p>□最初はタイルを見せながら行い、数問 様 子を見る。最終的にタイルをなくす。 ■5までの数の合成が目で見え す ぐに できたか（発言、観察） 【教科の補充】</p> <p>□トランプの数字は1～4までとする。 ■5までの数の合成ができたか (観察)</p>